

令和5年度 施設関係者評価

施設名 幼保連携型認定こども園 柏鳳保育園

評価者 4名（近隣小学校教職員1名、保護者2名、近隣住民1名）

	評価項目	良くあてはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	分からない
1	柏鳳保育園は、園だよりやホームページなどで、教育・保育方針や教育・保育活動を理解されるように努めている	4				
2	柏鳳保育園は、園だより、掲示、ホームページなどで積極的に園の様子や情報を伝えている	3	1			
3	柏鳳保育園の職員は、園の理念や方針をよく理解し、適切な教育・保育を行っている	4				
4	柏鳳保育園の園児は、職員との信頼関係のもと、楽しく園生活を送っている	4				
5	柏鳳保育園の保護者と園児は、園や職員を信頼している	4				
6	柏鳳保育園の職員は、園児の年齢や発達に合わせた声掛けや手立てを行っている	4				
7	柏鳳保育園の職員は、保護者や地域の皆様からの問い合わせや来園時などに丁寧な対応をしている	4				
8	あなたは、柏鳳保育園の教育・保育方針や教育・保育活動に関心があり、「園だより」などにも目を通すようにしている	4				
9	あなたは、柏鳳保育園の教育・保育活動に（地域交流、育児支援など含む）に関心があり、その活動に参加してみたいと思う	3	1			
10	あなたや地域の方々は、登降園や散歩中の子ども達に声を掛けたり、様子を気にかけて見守っている	4				

自由記述（抜粋）

- ・園外活動が増え、体験の場が増えたことは、子ども達にとって豊かな経験となり良い
- ・活動の変更があった時は、直ぐに知らせたい（準備物の変更は慌ててしまうので）

1. 園の教育・保育目標

何でもよく食べ丈夫な子
 物事をよく考えて実行する子
 立ち立ちの出来るたくましい子
 明るく素直な子
 みんなと協力できる子

2. 本年度の重点目標

＜子ども主体の保育の提供(保育環境の配慮)と職員の資質の向上＞
 ①子どもにとって楽しい保育園となるよう、幼児の興味を十分発散、発揮できる場所を作る
 ※「非認知的能力」「主体的、対話的、深い学び(アクティブラーニング)重視する」
 ②一人ひとりの子どもの育ちを支える
 ＜地域における子育て支援の実践と情報提供＞
 ③保護者の子育てを支える
 ④子どもと子育てに優しい地域を作る

3. 学年別教育目標及び保育目標

0歳児：生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ
 1歳児：行動範囲を広げ、探索活動を盛んにする
 2歳児：抽象機能や想像力を広げながら集団活動に参加する
 3歳児：身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲をもって活動する
 4歳児：信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする
 5歳児：集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

主な評価項目	取り組み状況
1. 運営規定 運営規定を作成しており、職員や利用者に規定を周知していますか	作成し、園内掲示で周知を促しています。
2. 施設設備 基準に定められている設備を有しているか	定められた基準を満たした設備を整えています。屋外、室内遊具は定期的に安全点検を実施し、安全を第一と考え取り組んでいます。園内に、AEDを設置しており、万一の場合、地域の方にもご利用いただけるように分かりやすい位置に設置しています。
3. 園児 認可定員を遵守しているか	定員数を遵守しています。
4. 教育・保育目標の理解と周知 教育・保育理念 教育・保育方針 教育・保育目標について、職員間の共通理解ができています	繰り返し伝えていくこと、思いや考えを出し合い意見交換すること、その中で調整し、取り組んできました。働き方の違い(勤務時間や勤務日数)から、ずれ違いになることもあり、全体周知に時間がかかってしまうこともありました。
5. 教育・保育内容 教育・保育要領の理解 教育・保育指針をふまえた指導計画の作成 保育の記録と次の指導計画への反映 園児の実際の行動に合わせた環境配慮	今年度も、子ども達の「やりたい」が形になるよう、保育を進めてきました。進め方に迷ったり、上手くいかなかった時の振り返りを職員間で共有することは、保育士自身の学びにもなっていました。
6. 特別支援教育 当該園児についての情報共有 家庭・医療・福祉等の関係機関との連携 特別支援についての理解	対応に困る場面や疑問、指導に関して、関係機関との連携を取りながら進めてきました。
7. 教育・保育の記録等 園児の育ちに関する帳票の整備 園日誌等を適正に整備しているか	整備しています。
8. 幼保小連携・地域交流 地域の小学校との教育交流 地域住民の方への園行事等の周知 参加交流を行っているか	幼保小の交流を通して、連携を図ってきました。校庭での運動遊びや交流活動は、気づきを広げたり、言葉を交わすなど、体験を豊かにするものとなりました。また、定期的に近隣宅への訪問を行い、声を聞くことで、課題(送迎時の安全)が見えてくることもありました。走行時の注意点、送迎時の注意点等の課題については、繰り返し掲示などで、家庭への周知を促しました。
9. 虐待防止等	

虐待等の状況が見受けられないか 行政との連携を行っているか	連携をとり対応しています。
10. 健康・衛生管理等 健康診断及び歯科健診の実施を行っているか マニュアルの整備がされているか 睡眠時の状況等を観察記録して適切な処理がされているか 付属する研修の実施	行っています。
11. 保護者との連携 保護者と連携して園児の情報を生かした保育を行っているか 問題発生時の保護者連絡、園情報の発信は適切か 保護者の園行事への積極的な参加 保護者は園の教育、保育理解はできているか 保護者からの要望・意見を適切に対応できているか 守秘義務を厳守しているか	年度始まりの保護者会や園だよりを通し、何を大切にしたいかを伝えること、意見や質問に丁寧に対応することを心掛けました。 保育参観や保育士体験を通し、保護者と時間を共有できることは、保育の振り返りにもなりました。
12. 教育・保育時間 教育課程に準じた教育・保育時間設定しているか	しています。
13. 地域との連携 相談支援・一時預かり事業 保護者と地域の子育て支援等の連絡・調整 地域の子育て支援者に対する情報提供・助言	体制を整え、行いました。
14. 苦情解決体制 苦情解決体制及び手順み沿って行われているか 苦情の再発防止に対応しているか	行っています。
15. 食事提供 管理栄養士の管理のもと食事提供されているか アレルギー対応が個々にされているか 衛生自主点検が行われているか	環境衛生を整え、安全に衛生的に作業を進めてきました。また、常に、旬の食材、年齢に応じた提供(切り、ゆで、味つけ等)を考え、献立に組み入れました。今年度は、誕生日会に誕生児のリクエストメニューも取り入れました。